河川周辺環境別に見た評価

資料2

河川の周辺環境別（上流・谷津域、中流・田園域、下流・都市域、海岸・都市域）の目標の達成状況について評価を示します。

上流・谷津域

都川（高根橋）
鹿島川
（下大和田橋）
村田川（高本谷橋）

生き物 ― 主な重要種の確認地点数

魚類等 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
スナヤツメ	VU	最	最	2	→	2	△
ミナミメダカ	VU	重	最	2	→	2	
モツゴ		―	要	1	↘	0	
オイカワ			要	1	↘	0	
ドジョウ	DD			3	→	3	

底生生物 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
コオイムシ	NT		最	2	↘	1	△
サトキハダカゲロウ		最	最	1	↗	2	
オオヒメゲンゴロウ		要		1	↘	0	
コヤマトンボ			重	1	→	1	
ハグロトンボ			要	2	↘	0	

水生植物 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
ニッケイ	NT			1	↘	0	△
オニグルミ		―	要	0	↗	2	
ヤマウルシ			重	0	↗	1	
エビモ			要	1	↘	0	
イヌショウマ			要	0	↗	1	

状況：都川でモツゴ、村田川でオイカワが確認できなくなった

サトキハダカゲロウを確認できる河川は増えたもののハグロトンボやオオヒメゲンゴロウが確認できなくなった

都川は新たに、オニグルミが確認されたが、鹿島川で確認された重要種は減少、村田川は確認できなくなった

河川別 確認された重要種数

河川名	魚類等 H23		H28	評価	底生生物 H23		H28	評価	植物 H23		H28	評価
都川	4	↘	3	×	3	↘	1	×	0	↑	5	△
鹿島川	4	↘	2		5	↘	3		7	↘	6	
村田川	3	↘	2		5	↘	4		3	↓	0	

状況：全河川で減少

全河川で減少
ハグロトンボ、コヤマトンボ等が確認できなくなった

都川は新たにタコノアシ、オニグルミが確認されたが、鹿島川は減少、村田川は確認できなくなった

水質

BOD・COD		溶存酸素		全窒素	全リン	全亜鉛
→	○	→	○	―	―	―
→		→		―	―	―
→		→		―	―	―

流量

→	×
→	
→	

総合評価

× 水質は基準を満たしているものの、魚類・底生生物の重要種の確認数が減少しており、今後一層の保全活動が必要

今後の課題

・水量の確保
・現在確認可能な種の保全
・重要種の復活環境の創出

今後の施策の方向性

・森林の保全・再生（特別保全緑地地区等の積極的な指定）
・谷津田保全協定区域の拡大
・開発事業者に対する協力要請

中流・田園域

都川（青柳橋）
鹿島川（下泉橋）
花見川（花島橋）
支川都川
（新都川橋）
坂月川（辺田前橋）

生き物 ― 主な重要種の確認地点数

魚類等 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
ミナミメダカ	VU	重	最	4	↘	3	△
モツゴ		―	要	5	↘	4	
ヌマチチブ		―	要	1	→	1	
オイカワ			要	1	↑	5	
ドジョウ	DD			3	→	3	

底生生物 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
ミゾレヌマエビ		最	最	0	↗	2	△
ホンサナエ		重		0	↗	1	
スジエビ		―	重	2	→	2	
ハグロトンボ			要	4	↘	2	
ギンヤンマ			要	2	↘	0	

水生植物 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
ミクリ	NT	重	最	2	↗	3	◎
カワヂシャ	NT			1	↗	2	
フサモ		要	最	1	↗	2	
オニグルミ		―	要	2	→	2	
エビモ			要	1	↗	2	

状況：坂月川でミナミメダカが確認されず減少したが、鹿島川等でオイカワが新たに確認されるなど全体としては横ばい傾向

鹿島川でホンサナエ、都川及び支川都川でミゾレヌマエビが新たに確認できたが、ハグロトンボは減少傾向、ギンヤンマは確認できなくなった

都川でフサモ、支川都川でミクリ、坂月川でカワヂシャが新たに確認でき、減少した重要種が少なかった

河川別 確認された重要種数

河川名	魚類等 H23		H28	評価	底生生物 H23		H28	評価	植物 H23		H28	評価
都川	3	→	3	△	2	→	2	×	4	↗	6	◎
鹿島川	5	↗	7		6	↗	8		3	↗	4	
花見川	2	→	2		4	↘	3		3	→	3	
支川都川	3	↗	4		4	↓	1		3	↑	6	
坂月川	4	↘	3		3	↘	1		0	↑	3	

状況：概ね横ばい

鹿島川ではホンサナエ、コオイムシが新たに確認できたが、その他の流域では減少傾向

都川でフサモ、支川都川でミクリ、坂月川でカワヂシャが新たに確認でき、減少した流域がなかった

水質

BOD・COD		溶存酸素		全窒素	全リン	全亜鉛
→	○	→	○	―	―	―
→		→		―	―	―
→		→		―	―	―

流量

→	×
→	
→	

総合評価

○ 水質は基準値を満たしており、底生生物でやや重要種の減少が見られたものの、魚類では横ばい、植物では増加傾向にあり、今後は新たな重要種の出現を目指しつつ、確認種を保全する

今後の課題

・現在確認可能な種の保全
・新たな重要種の出現環境の創出

今後の施策の方向性

・谷津田保全協定区域の拡大
・里山の保全
・農地の保全

下流・都市域

都川（都橋）
花見川（新幕張橋）
生実川（平成橋）

生き物 ― 主な重要種の確認地点数

魚類等 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
ミナミメダカ	VU	重	最	0	↗	1	△
ビリンゴ		―		2	↘	1	
マハゼ				3	→	3	
ボラ				3	→	3	
スズキ				2	→	2	

底生生物 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
モズクガニ		―	最	0	↗	2	○
スジエビ		―	重	1	→	1	
シラタエビ			要	2	→	2	
スジエビモドキ			要	1	→	2	

水生植物 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
タコノアシ	NT		要	2	↘	1	△
オニグルミ		―	要		↘	1	
ヤマスズメノヒエ			重	0	↗	1	
ミソハギ			重	1	→	1	
ヒメサルダヒコ			要	0	↗	1	

状況：花見川でビリンゴが確認できなくなったが、生実川でミナミメダカが確認されるなど全体としては横ばい傾向

都川でスジエビモドキ、モズクガニなどが新たに確認された

都川でヤマスズメノヒエ、ヒメサルダヒコが新たに確認できたが、生実川でタコノアシ、オニグルミが確認できなくなった

河川別 確認された重要種数

河川名	魚類等 H23		H28	評価	底生生物 H23		H28	評価	植物 H23		H28	評価
都川	0	→	0	△	0	↑	3	○	4	↗	6	△
花見川	1	↘	0		3	→	3		0	→	0	
生実川	1	→	1		2	→	2		3	↘	1	

状況：花見川でビリンゴが確認できなくなった

都川でスジエビモドキ、モズクガニなどが新たに確認された

都川で新たに2種確認できたが、生実川で2種確認できなくなった

水質

BOD・COD		溶存酸素		全窒素	全リン	全亜鉛
→	○	→	○	―	―	―
↗						
↗						
→		→		―	―	―

流量

総合評価

△ 水質は基準を満たしているものの、魚類、底生生物、植物でほぼ横ばいの状態となっており、今後一層の保全活動を目指す

今後の課題

・不法投棄の減少（市民意識の向上）

今後の施策の方向性

・啓発事業の実施

都市・海岸域

千葉港
いなげの浜
～幕張の浜

生き物 ― 主な重要種の確認地点数

魚類等 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
ニホンウナギ	EN			1	↘	0	×
ビリンゴ		―		1	↘	0	
エドハゼ				1	↘	0	
イシガレイ				2	→	2	

底生生物 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
				―			
				―			

水生植物 重要種名	区分 国	県	市	H23		H28	評価
				―			
				―			

状況：重要種が確認できなくなった

未調査

未調査

河川別 確認された重要種数

河川名	魚類等 H23		H28	評価	底生生物 H23		H28	評価	植物 H23		H28	評価
千葉港	0	→	0	×	0	→	0	×	―	―	―	―
幕張の浜	3	↓	0		0	→	0		―	―	―	

状況：重要種が確認できなくなった

重要種の確認が見られない

水質

BOD・COD		溶存酸素		全窒素	全リン	全亜鉛
→	△	↘	○	↗	× ↗	× → ○
→		→		↗	↗	→

流量

	―

総合評価

× 水質で基準値を達成していない項目があり、また魚類の重要種が確認できなくなっており、今後周辺自治体との連携を含め保全方法の検討を行う必要がある

今後の課題

・東京湾全体での水質改善

今後の施策の方向性

・今後周辺自治体との連携を含め保全方法の検討を行ってゆく

凡例

	生き物	
↗	地点数　増	＋1
→	地点数　横ばい	0
↘	地点数　減	－1

重要種のカテゴリー

国		県		市	
EN	絶滅危惧IA類	最	最重要保護生物	最	最重要保護生物
VU	絶滅危惧II類	重	重要保護生物	重	重要保護生物
NT	準絶滅危惧	要	要保護生物	要	要保護生物
DD	情報不足	―	一般保護生物		

	生き物	
↑	重要種　＋3以上	＋2
↗	重要種　＋2	＋1
→	重要種　横ばい	0
↘	重要種　－2	－1
↓	重要種　－3以下	－2

	水質	B・窒・亜・リン	酸
↗	数値　上昇	－1	＋1
→	数値　横ばい	0	0
↘	数値　下降	＋1	－1
	目標値　未達成		

	流量
↗	数値　上昇
→	数値　横ばい
↘	数値　下降
	目標値　未達成

評価	点数	備考
◎	＋3以上	マイナス無
○	＋0～2	マイナス無
△	－2～	
×	－3以下	

注：表中の23及び28は、計画の策定・改訂年度を示し、各調査結果の対象年度は下記のとおり
H23　：　平成13年度～平成20年度　　H28　：　平成21年度～平成27年度
注：BOD・CODは、河川がBOD、海域がCODの結果を示す